

内装建材 樹脂性化粧見切

見切・目地 高意匠壁天井見切り スッキリ見切10, スッキリ見切13

スッキリ見切

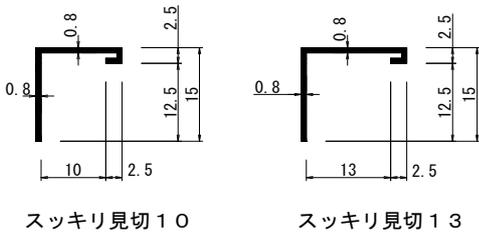
■設計施工時の注意

本製品は屋内の壁・天井見切りです

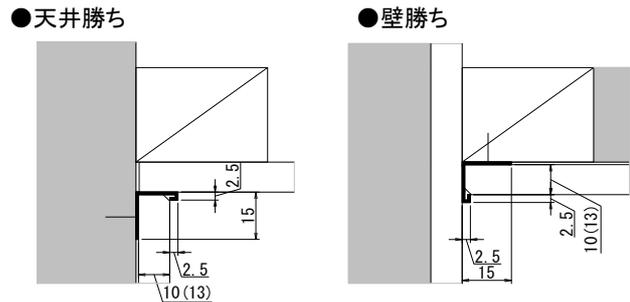
！注意

- 本製品は屋内の壁・天井用の見切り材です。それ以外の目的には使用しないでください
- エアタッカを使用する際、圧力が高すぎる場合や低温時に製品の割れ、欠けが発生する場合があります。
- 本製品は必ず下地に固定してください(両面テープのみによる固定は避けてください)

■製品図



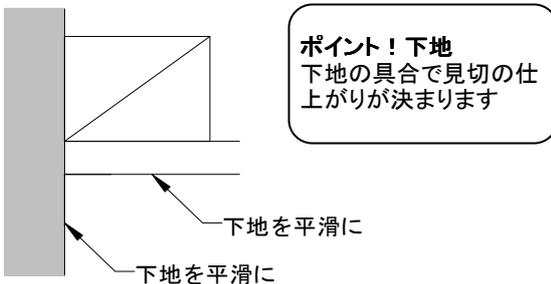
■基本納まり図



■施工要領

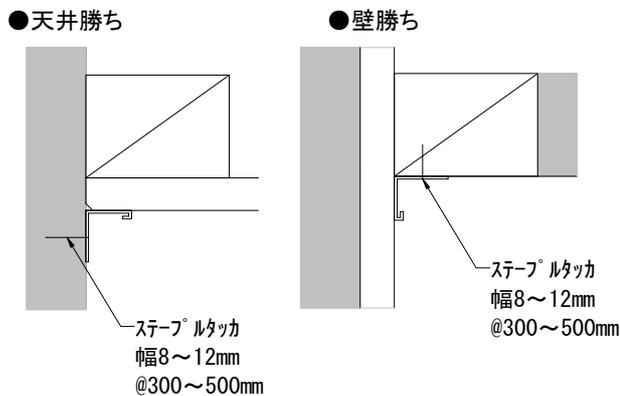
①壁・天井の下地を平滑に！

壁・天井の下地を平滑に仕上げてください。  
見切り材の仕上がりに影響します。



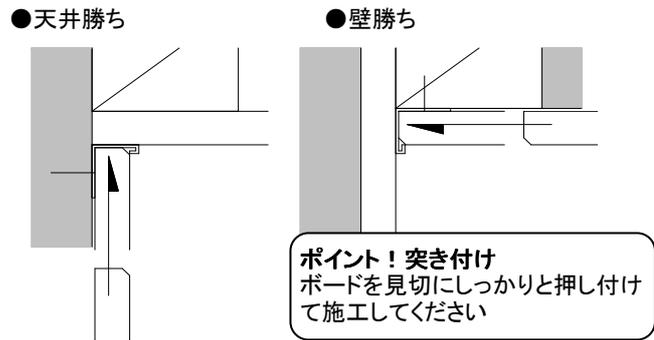
②見切り材「スッキリ見切」の取り付け  
ステーブル幅等で下地に取付けてください

ポイント！必ず下地に固定してください



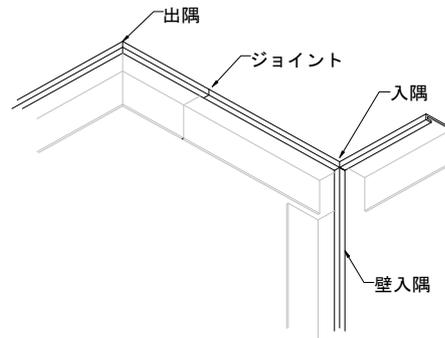
注意！ステーブルの圧力が高すぎる場合や低温時に製品の割れ、欠けが発生する場合があります

③見切をボードでしっかりと押し付けるように施工します



ポイント！壁ボードは天井側から  
壁ボードは天井側から追って施工してください。  
床側から追うと見切との間に逃げ出て、仕上がりが悪くなります

- ④ジョイント部、入り隅は突き付け施工としてください
- ⑤出隅部は留め加工としてください



⑥仕上げ クロス仕上げしてください